

# 令和元年度第3回文京区障害者地域自立支援協議会

## 地域生活支援専門部会 次第

令和元年12月6日(金) 午後2時から

文京シビックセンター5階 区民会議室C会議室

### 1 開会

### 2 議題

#### 【事例検討】

テーマ：

「様々な課題に対して地域生活支援拠点はどのような役割を担えるか」

- ・保健師から見える課題
- ・短期保護事業者から見える課題
- ・相談支援事業者から見える課題

### 3 その他

#### 《その他配付資料》

- ・文京区障害者地域自立支援協議会地域生活支援専門部会座席表

# 事例検討

【資料第1号】

番号	事例	現状	課題
1	精神障害と身体障害の重複障害を持つ50代後半の男性ケース	障害福祉サービスはガイドヘルプのみである。母子家庭であるが、最近になって母の介護が必要になった。	重複障害を持つ障害者に対しての支援の連携について 介護保険に移行する障害者の障害と介護の連携について
2	放課後等デイサービスが終了し、居場所が無くなったケース	児童福祉法の放課後等デイサービスを受けている児童は、18歳になるとサービスを受けられなくなる。その結果、日中活動系サービスなどが終わった後の居場所として、短期保護事業を利用しているケースがある。	日中活動系サービス後の夕方の時間帯を過ごす居場所について
3	認知症により高齢者施設に入所した母親を持つ40代半ばの女性ケース	母と本人の住居はゴミ屋敷状態であり、不動産売却や多額借金などの問題があった。キーパーソンである叔母と本人の関係を調整しつつ、それらの問題を解決した。しかし、母に依存した生活が長かったため、生活能力全般に問題がある。また、就労訓練などの利用が長続きせず、グループホームを利用すべきだが拒否している。	独居になった障害者が地域に住み続けるための生活支援について